

令和5（2023）年度 九州情報大学所属研究者による研究業績

（掲載は五十音順、令和5年3月から令和6年2月までの間の業績）

麻生 隆史 学長

○寄稿

- ・「ビヨンドコロナの大学戦略」『教育学術新聞』第2943号、2023年10月25日発刊。

○講演・発表等

- ・「大学認証評価及び内部質保証について」一般財団法人大学・短期大学基準協会、令和5年度大学認証評価 評価員研修会、2023年7月18日。

荒平 高章 准教授

○論文

- ・三枝明日葉、荒平高章「植物組織による3次元足場材の有用性の検討」『臨床バイオメカニクス』44、2023年、pp.269-273。
- ・瀧本くるみ、荒平高章「3Dバイオプリンタを用いた人工骨組織構築の試み」『臨床バイオメカニクス』44、2023年、pp.275-279。
- ・森崎絢可、荒平高章、名井陽「三次元足場材と細胞による疾病骨オルガノイドの作製」『臨床バイオメカニクス』44、2023年、pp.281-284。
- ・Arahira, T., Takimoto, K., Todo, M., "Development and Characterization of Alginate/Collagen Composite Bioinks for Bone Tissue Engineering", *Journal of Biotechnology and Biomedicine*, 6, 2023, pp.160-162.
- ・垣永渉、荒平高章「VS31 九州情報大学の学生における科目選択の傾向とコース選択への影響」『工学教育研究講演会講演論文集 第71回年次大会（2023年度）』公益社団法人日本工学教育協会、2023年、pp.326-327。

○教育改革事業報告

- ・荒平高章「初年次教育における課題探究を基盤とする実習の設計と評価」『九州情報大学学術・教育研究所報』第6号、2023年、pp.10-11。

○共同研究報告

- ・荒平高章、田中崇恵、小柳響輝「カウンセリングデータに基づく患者の心理状態抽出への試み」『九州情報大学学術・教育研究所報』第6号、2023年、pp.11-12。

○学会発表

- ・タマンディーパ、荒平高章「アルギン酸を基材とした3Dバイオプリンター用バイオインクの作製と評価」第34回バイオフィロンティア講演会、2023年12月16・17日、山口。
- ・立石朝陽、荒平高章「磁場刺激装置を用いた培養細胞に関する基礎的評価」第34回バイオフィロンティア講演会、2023年12月16・17日、山口。
- ・三枝明日葉、荒平高章「植物組織を骨格とした3次元足場材の作製と評価」第50回日本臨床バイオメカニクス学会、2023年11月10・11日、姫路。
- ・森崎絢可、荒平高章、名井陽「三次元多孔質足場材を用いた疾病骨オルガノイドの作製と評価」第50回日本臨床バイオメカニクス学会、2023年11月10・11日、姫路。
- ・田中走、野中溪人、荒平高章「陸上競技によるQ-learningを用いたAI分析によるコンディショニング評価」スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス2023、2023年11月10-12日、ハイブリッド開催。
- ・荒平高章、西上航平「高齢者のための簡易ゲームの試作と評価」ゲーム学会第21回合同研究会、2023年9月2日、オンライン開催。
- ・垣永渉、荒平高章「VS31九州情報大学の学生における科目選択の傾向とコース選択への影響」第71回年次大会(2023年度)、2023年、ハイブリッド開催。
- ・森崎絢可、荒平高章、名井陽「三次元多孔質足場材と2種の細胞による骨様組織の作製」第35回バイオエンジニアリング講演会、2023年6月3・4日、仙台。
- ・吉野駿佑、荒平高章「力学刺激による骨芽細胞様細胞の骨分化能の評価」日本機械学会九州支部、九州学生会第54回学生員卒業研究発表講演会、2023年3月3日、宮崎。

○講演

- ・荒平高章「INKREDIBLEを用いた三次元人工骨様組織構築の試み」CELLINKウェビナー、2023年10月24日、ウェブ開催。

小川 雄平 教授

○学会発表

- ・「東アジアの30年：冷戦崩壊後の東アジアの地方間交流」（総括コメント）、東アジア学会創立30周年記念大会（第32回大会）、西南学院大学西南コミュニティセンター多目的室、令和4年5月28日。
- ・「東北アジアの緊張緩和を考えるー越境地域経済協力の可能性ー」東アジア学会第95回研究会、西南学院大学西南コミュニティセンター会議室、令和5年4月1日。
- ・総括コメント、東アジア学会第97回研究会、西南学院大学学術研究所大会議室、令和5年12月9日。

○講演

- ・「東北アジアの緊張緩和を探る」（基調講演）、日本東亜大学東アジア文化研究所・韓国朝鮮大学校・韓国（社）南北交流協議会共催「2023年度『東北アジア平和』国際学術交流シンポジウム」、東亜大学コミュニティセンター、令和5年11月17日。

鈴木 和也 准教授

○研究ノート

- ・「生徒の知的好奇心を喚起する要因とその指導効果について」『九州情報大学学術・教育研究所報』第7号、2024年。

竹石 洋介 准教授

○論文

- ・Takeshi Sato, Mizuki Nakajima, Yousuke Takeishi, Kimie Nakajima, Megumi Hasegawa, Eiji Watanabe, “Effect of the body composition for three months intervention of soy milk”, 45th ESPEN Congress on Clinical Nutrition & Metabolism, LB70-W, 2023.
- ・Kimie Nakajima, Mizuki Nakajima, Yosuke Takeish, Miyu Kayama, Takeshi Sato, “For Sumo Performance Nutrition Rich Soy Milk CHANKO and Traditional CHANKO”, Nutrition 2023, Topical Area: Food Science and Nutrition, P06-036-23.
- ・Takeshi Sato, Mizuki Nakajima, Yousuke Takeishi, Kimie Nakajima, Eiji Watanabe, Megumi Hasegawa, “Effect of Soy Milk in the Body Composition in Japanese Sumo Wrestling”, Nutrition 2023, Topical Area: Obesity, P31-051-23.
- ・Yousuke Takeishi, Megumi Hasegawa, Kimie Nakajima, Mizuki Nakajima, Takeshi Sato, “Effect of Soybean Milk Intake on Liver Function and Cholesterols in Japanese Sumo Wrestling”, Nutrition 2023, Topical Area: Obesity, P31-061-23.

- Mizuki Nakajima, Takeshi Sato, Yosuke Takeishi, Kimie Nakajima, Eiji Watanabe, “Comparison of Brown Rice and Soy Milk on Blood Cholesterol Level Above BMI 35”, *Nutrition 2023, Topical Area: Sports Nutrition and Physical Activity*, P32-015-23.
- Reina Sekiguchi, Megumi Hasaegawa, Mizuki Nakajima, Takeshi Sato, Yousuke Takeishi, Eiji Watanabe, “Ice Slurry Oral Intaking for Improving High Temperature and Humidity Bedroom Sleeping”, *Nutrition 2023, Topical Area: Sports Nutrition and Physical Activity*, P32-018-23.

ディンダ プラマンタ 助教

○著書

- Edited by Shrikaant Kulkarni, Jaiprakash Dwivedi, Dinda Pramanta, Yuichiro Tanaka, *Edge Computational Intelligence for AI-Enabled IoT Systems*, ISBN 978-1-03-220766-7.

○基調講演

- Development of Brain-inspired computing and its application towards society 5.0 in “Emerging trends of advanced technology for the growth of PSUs Government of India”, Integrated Institute of Human Resource, New Delhi, 2023 (on-line) .

中島直樹 助教

○論文

- Naoki Nakajima, Tadanobu Kamijo, Hirofumi Hayakawa, Eriko Sugisaki, Takeshi Aihara, “Modification of temporal pattern sensitivity for inputs from medial entorhinal cortex by lateral inputs in hippocampal granule cells”, *Cognitive Neurodynamics*, DOI: 10.1007/s11571-023-09964-w, 2023.

○学会発表

- Tadayoshi Monden, Kazuhisa Kamei, Naoki Nakajima, Tadanobu Kamijo, Takeshi Aihara, “Timing dependence of associative responses on two inputs for medial and lateral dendrites in the rat hippocampal granule cells”, 第46回日本神経科学大会、2023年8月1日-4日、仙台国際センター。
- Hayato Tanaka, Naoki Nakajima, Hirofumi Hayakawa, Kamijyo Tadanobu, Takeshi Aihara, “Input-Information Association of Location and Odor in Hippocampal Dentate Gyrus”, The SICE Annual Conference 2023、2023年9月6日-9日、三重大学。

- Tadayoshi Monden, Shion Kiba, Naoki Nakajima, Tadanobu Kamijo, Takeshi Aihara, "The influence of acetylcholine on associative responses for two inputs in hippocampal granule cells", Society for Neuroscience 2023, 11-15 Nov., Walter E. Washington Convention Center.

宮崎 武 専任講師

○学会発表

- H. Fujii, S. Uehara, T. Miyazaki, S. Araki, Y. Nogami, "Some Properties of Well-Balanced Sequences Obtained from Two Logistic Maps over Integers", IEEE International Conference on Consumer Electronics – Taiwan, 2023 (ICCE-TW2023) .
- T. Miyazaki, S. Araki, S. Uehara, "How to Construct Pseudorandom Bit Sequences from Mazes by a Method Digging Out Walls", IEEE International Conference on Consumer Electronics – Taiwan, 2023 (ICCE-TW2023) .
- 藤井、宮崎、荒木、上原、講演1「2つの整数上のロジスティック写像を用いた擬似乱数生成法の統計的乱数性に関する一考察」第9回有限体理論とその擬似乱数系列生成への応用ワークショップ (FTPRSWS2023)。
- 宮崎、荒木、上原 講演6「迷路法によって生成される系列の種類数の理論的解析に関する一考察」第9回有限体理論とその擬似乱数系列生成への応用ワークショップ (FTPRSWS2023)。
- 高市、顔、荒木、宮崎、上原 講演9「研究紹介: 動的同期カオスベースランダム鍵を用いたストリーミングデータ用暗号システム」第9回有限体理論とその擬似乱数系列生成への応用ワークショップ (FTPRSWS2023)。
- 藤井、森脇、宮崎、荒木、上原、野上 6.1.1「2つの整数上のカオス写像を用いた擬似乱数系列の乱数性に関する一考察」第46回情報理論とその応用シンポジウム (SITA2023) 関連。

山下 壽文 教授

○論文

- 「簿記から会計への展開 - 下野直太郎の所説を中心として -」『佐賀大学経済論集』第55巻第3・4合併号、39-78頁、令和5年3月。